

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

| | |
|------|-------------------------|
| 事業所名 | ふれあいファクトリー |
| 住所 | 東京都豊島区南池袋2-45-1 豊島区役所4階 |
| 電話番号 | 03-3980-5020 |

| | |
|-------|------------|
| 事業所番号 | 1311601593 |
| 管理者名 | 近藤 友克 |
| 対象年度 | 令和2年度 |

地域連携活動の概要

<活動内容>

活動場所 豊島区南池袋2-45-1 豊島区役所 Caféふれあい

実施日程 自治体とのコラボフェア5回

はあとの木としての活動は常時行っている

実施した生産活動・施設外就労の概要

3年前から豊島区と連携し、交流都市などの食材を使用させていただき、店舗を活用してフェアを開催している。また、区内福祉施設ネットワーク「はあとの木」の活動を継続的に実施している。

利用者数 6名～7名（就労継続支援A型事業の利用者）

<活動の様子>



<目的>

店舗の売り上げ向上はもちろんであるが、社会的な貢献ということを念頭において実施している。自治体とのコラボフェアは3年前の長野県箕輪町を皮切りに、豊島区障害福祉課及び文化観光課と連携し、宮城県、宮城県登米市、栃木県那珂川町、沖縄県伊江島町の広報、宣伝の一環として、食材を使用したフェアを開催してきた。また、豊島区内の障害者福祉施設ネットワーク「はあとの木」としての活動としては、各事業所の物販販売の請負業務を引き続き行い、消費者との仲介を行っている。当店独自のクッキーやお菓子類も、企業等からの依頼を受けて、制作し、はあとの木として販売している。

<成果>

自治体とのコラボフェア開催により、多くのお客様が来店してくれた。店内には、パンフレットなども配置し、その地域ならではの食材やメニューを提供してきた。コロナ禍ということもあり、感染防止対策をとりながらのフェアの実施であったが、旅行ができない環境下で地方の名産に触れられる機会を多くの方に喜んでいただけた。地方都市の広報、住民間の交流に一役かっている。

また、はあとの木としての活動は、自主製品を作っている豊島区内の事業所の連携を深め、また、区民などを対象に障害者の活動や作品にふれることによる啓発を促してきた。店舗はその自主製品の販売の窓口機能を担っている。コロナ禍により活動が少なくなっていたが、新たな販売場所の開拓など、努力を継続している。

上の写真は栃木県那珂川町フェアの時の写真です。ワンプレートのランチはデザート、ドリンクもついており、店の人気メニューです。右の写真は当店のお菓子詰め合わせセットの写真です。

普段は、お弁当とランチなどで100食以上を売り上げており、サービス利用者の中から選ばれたリーダー、サブリーダーを中心に日々の業務を行っています。



連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価

- ・文化観光課との連携では、食を通じて交流都市をより知る機会となっている。パンフレット等だけではなく、実際に特産物に触れることにより身近に感じることで区民に対しては交流都市のPRとなり、職員に対しては事業の意識付けになっている。
 - ・障害福祉課は「はあとの木」ネットワークを支援しており、参加事業所の自主製品商品棚の在庫管理を含めた販売委託業務契約を結んでいる。常設の商品棚があることにより自主製品ネットワーク事業の活動が広がる起点の一つとなっている。
- また、A型事業所が庁舎内にあることは、豊島区が進めているSDGsの取組みにも貢献している。

今後の連携強化に向けた課題

- ・庁舎内の関係部署だけではなく、区民等の一般の方たちから「区役所にある、Cafeふれあいに行こう。」と言われるような場所になるよう、認知度をあげていてもらいたい。

| | | | |
|--------|-----|------|-------|
| 連携先企業名 | 豊島区 | 担当者名 | 小林 直子 |
|--------|-----|------|-------|